

ペットにゆーす

NO. 2

2011年6月1日発行



みよし市主催 地域サロン第2回(5/11)小物づくり「マイペットボトルシャワー」

介護に役立つ小物づくりを行いました。

材料は日頃から身近にある「からのペットボトル」容器です
紹介してくれたのは あいネットスタッフの長山さんです。

さあ〜作ってみよう！介護に役立つベシリな小物。

用意するもの

- からのペットボトル (350ml.又は500ml)
- ペットボトルのふた(3~4個)
- 穴あけ用・目打・ハネタール1枚

作り方

- ① ペットボトルのふた内側の底部分に目打で穴を8~10ヶ所、あける。



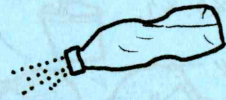
★ポイント

- 目打は差す時、真上から真つづくにつき差す。
- ふたひとつ穴をあけ終わったらペットボトルに水を入れて水の出具合いをみること。



▷ この日は、でき上がったペットボトルにキラキラシールをはって仕上げました。

使い方



- ① まず、洗いたいところにペットシート^{*}を敷きます。そしてペットボトルシャワーを使います。

- おむつが濡れしないようにおシモ洗えます。
- 汗ばんだ手、足も洗えます。

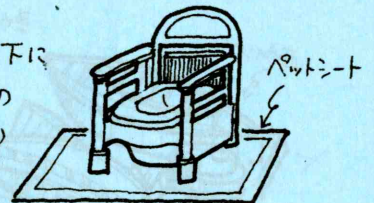


← ペットシート

* ペットシート (45cm×32cm) 100枚入 } 参考価格
(45cm×60cm) 50枚入 } 1000円位。

- 400~500mlの水分、吸収してくれます。
- 消臭効果もあります。

- ポータブルトイレの下に敷いておくとあとの手入れが楽になります。



← ペットシート

次回

地域
サロ
ン

7月13日(水) 10:30~12:30 ■ 福祉センター、2F・和室 ■ 参加費 200円

<内容> 紙おむつ最新事情、軽食、おしゃべり。

8月10日(水) 10:30~12:30 ■ 明越会館 調理室 ■ 参加費 200円

<内容> パッククッキング、言食、おしゃべり。

バスでゆく 回想ツアー 見学記

● 5月18日(水) 見学先は北名古屋市図書館内にある ^{※1} 通称・昭和日常博物館 ^{※2} である。北名古屋市東庁舎の西側の建物で1階は図書館、その70mにある階段を上り2階へ、そこで館長の市橋さんより説明を受けました。お話しの最後に「……ここは博物館ですが……ですが、ほかの博物館と大きく違って、みなさん思いやりおしゃべりしながらご覧になって下さい……云々……どうぞ見学楽しんで下さい!!」、少しお話の意味をつかみかねていましたが……話を伺っている場所には、昭和30年代雑貨屋さんの店先、よみと店内の造り、店内の小物、売り物、雑誌・書類、おべこがその時代のモノ、モノ、で再現されています。いや〜おしゃべりせうにはいられせん!!

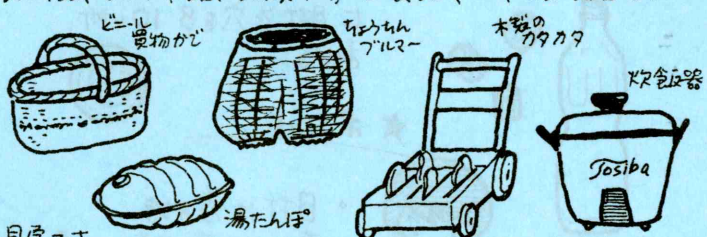
● 回想法とは
自らの経験や昔懐かしい道具を教材にその体験を語り合う(回想すること)ことにより、介護予防、認知症防止に役立てる方法のことです。



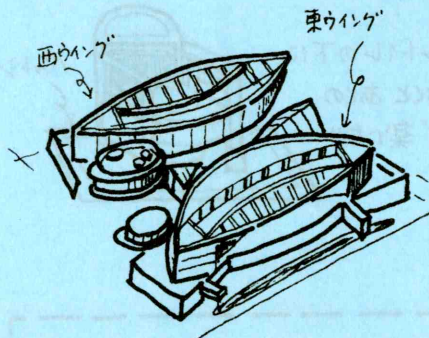
▷参加者みなさんが子どもの頃に、若〜い頃にもどって展示品に目をこらし何かを甦らせている様子です。



▷田かどの再現ブース、お茶の間の再現ブースの他にこの時代の食料品、台所用品、衣類、家電製品、日用雑貨品などが見やすく展示され時間が立つとおしゃべりの方向がこれらを使っていた頃、食べていた頃 遊んでいた頃のエピソード〜とおしゃべりが広がっていきました。



● 午後は同じ北名古屋市の総合福祉センター「^{※3}もえの丘」の見学です。太陽の光をいっぱい受けてキラキラしている建物でここは福祉に関する



施設がここに集約されているため多くの利用者と接しました。無料で利用できるということも気軽さと開放感を発しているようです。休日ともなると子ども利用者が増え大変賑やかになるそうです。

旧西春町には「健康ドーム」という同じ総合福祉センターもあり、北名古屋市の福祉に関する政策を伺い知ることができました。▷この日施設の研修室で昭和30年代の品物を使っての「回想法リーダ養成講座」が開られていました。

※1. 北名古屋市は 2006年3月 旧師勝町、旧西春町が合併し発足。
 ※2 (通称) 昭和日常博物館 <TEL> 0568-25-3600
 ※3. 総合福祉センター「もえの丘」 <TEL> 0568-26-2888

見学会に参加して...
 人が相手の活動はすぐに成果を生み出せるものではなく継続することが求められます。北名古屋市の回想法も旧師勝町時代から9年取組んでみえます。その中で楽しくおしゃべりすることが認知症防止になることが確認されてきています。
 私たちも「昔のこきをおしゃべりする」。毎日の中でちよと取り入れてみたら記憶の糸がうまくつながってちよとでも良い効果があればと思いました。
 < あいネット・スタッフ >